



インタビューの  
記録から

組織で活動するときには、時間を守って行動することは、とても大切なことです。自ら行動で示すことで言葉にも説得力が増し、学校全体に良い影響を与えることができますと思います。

学校は組織で動くことが大切なので、学年主任や分掌主任に校長の方針をよく理解してもらうことが重要だと考えています。教務主任は、そのパイプ役であり、管理職の思いをうまく伝えなければと思っています。

教頭は職員室の担任、教務主任は学級委員長だと思っているので、先生方をまとめたり、代表して意見を管理職に伝えたりできるように心掛けています。

## 率先した取組で示したい

そこで

言葉だけでなく自ら行動で示すことで、それぞれの立場を理解した言動がとれるように、全員の経営参画意識を高めましょう。

たとえば

### 行動で示す

- ・学校全体の行事の時には、ゆとりをもって準備を行い、事前準備や当日は誰よりも早く場所に行き全体を指導する。
- ・授業や掃除、その他様々な活動場面で、時間前にその場所に行き、素早く行動を開始する。
- ・「時間を守る」「自分の仕事は遅れない、間違えない」を実践している。
- ・校内研修に積極的に取り組み、公開授業も率先して行う。

### 主任を束ねる

- ・「全て教務主任を通す」という校長の方針を受け、学年主任や分掌主任に対して教務主任の立場から指導助言する。
- ・学年主任とは、日頃から意識して多く話をし、管理職の意向を伝えたり、相談に乗ったり、学年間の調整をしたりする。
- ・行事の後は学年主任に反省用紙を渡し、学年会で改善点を検討してもらう。教務主任はそれを集約し、必要に応じて助言する。

### 経営参画意識を

- ・「これ1冊あれば全て分かる」という、教育課程編成基礎資料を作成し、これを基に積極的に学校運営に参画している。
- ・「組織で動く」ことができるように、各主任の企画立案に教務主任がかかわることで、経営参画意識がもてるようにしている。
- ・「考えを認めて、やらせてみて、助言する」という方法で、校長に育ててもらったことを後輩を指導する際に生かしている。

自ら範を示すことで  
全員に経営参画意識を



教頭

教務主任

学年主任

研修主任